

年度	主な出来事	備考
昭和22年 (1950)	熊谷南小建設に伴い、教員室として赤城町より移築、荒川婦人会発足	南小、2部授業。カスリン台風 2部授業解消、初代の屋台を建造
23		
25		
27		
28	熊谷南小の旧教員室を校庭の東隅に移動し、荒川公民館として開館。	旧校土手は土地区画整理で整地 熊谷市公民館連絡協議会創立 安藤野雁の歌碑を建設 荒川大橋が延長となり下に隧道建設
(1960)	30 熊谷市公民館連絡協議会を協会に改める 31 6月、荒川地区自治会連合会結成。 35 公民館の屋根等の傷みが多く、雨漏りも甚だしく使用困難となる。	
38		
39		
40	熊谷市中央公民館落成。11月に市公協公民館まつりを開催。	荒川保育所開設 鎌倉陸橋完成、1964東京オリンピック 荒川児童館開館 埼玉国体開催(1巡目) 市政40周年
(1973)	42	
48		
53	2月、自治会館(集会所兼公民館)の改修工事を行う。	伊勢町屋台を新調 老人憩いの家「荒川荘」オープン
(1980)	54	
55		
56		
58	4月、基準公民館建設要望書を提出。市公協会30周年記念大会を開催。	11月上越新幹線開通 市政50周年
60	3月、公民館用地として法務局跡地払い下げとなる。	
61	石川荒川公民館長、県公連会長に。10月、仮称荒川公民館竣工式。	南小開校40周年記念式典
62	記念誌「あらかわの歩み」発刊。正式名称「荒川公民館」が決定。 8月、「荒川公民館」竣工式・祝賀会を開催。 広報「あらかわ」第1号発刊。第1回あらかわ公民館まつり開催。 あらかわコーラス部員を募集。第1土曜日を自由開放 10月、第3土曜日を荒川公民館(子供)映画会 3月グランドゴルフ初講習会。育成団体の刻字、初歩の民謡教室、写仏、 囲碁、俳句などが立ち上がる。	
63		3月埼玉博覧会(現・スポ文公園)
平成元年 (1990)	社会同和教育推進指定公民館に指定される。 家庭の不用品を寄付して頂き、活用品バザールを初開催。	7月南小プール完成
2		
3		
4	荒川公民館、埼玉県優良公民館表彰を受賞	熊谷桜堤がさくら100選に選定 荒川中に重層の体育館完成 第1回熊谷さくらマラソン大会の開催
5	荒川公民館利用者へ、公民館安全互助会への加入を促進。	市政60周年
8	成人大学→ふるさと学級、女性学級→豊かな生活学級、高齢者学級→いきいき学級に変更。	
9	荒川婦人会創立50周年記念大会を開催	文化創造館の愛称「さくらめいと」決定
(2001)	13 社会教育法の改正に伴い、公運審から公運協へ。 14 公民館合宿通学を実施(平成14～15年) 15 熊谷南小学校区連絡会を市民まごころ運動として推進 16 子育てグループ「ひまわりくらぶ」誕生 17 市民まごころ運動は終わったが、熊谷南小学校区連絡会を再結成。 18 中央公民館工事の為、荒川公民館の利用者が急増し6万人を超える。	市政70周年 10月、2巡目の国体を開催と新潟地震 熊谷市・大里町・妻沼町が合併。
19		
(2010)	22 熊谷市と江南町が合併。 市子育て広場「きらきら」5月開設 3月、東日本大震災発生。 荒川区の屋台を山車として新造 東京スカイツリー開業 2020東京オリンピック開催決定	
23	荒川公民館3階のフローア張り替え。	
24	荒川公民館25周年記念式典を開催。 全国総合補償制度に加入。	
25	広報あらかわ編集編集委員会を発足。貸室予約システムの変更 「荒川婦人会」がコミュニティー活動賞を受賞する、	
26		
27	荒川公民館まつりの初日に、第1回荒川公民館表彰式を実施。	
29	荒川公民館30周年記念「荒川地区の歩みと公民館事業」作成	
30		
令和元年 (2020)	改称なった「リユース・フェア」が大盛況 新型コロナ感染拡大で3月9日～6月7日に渡って休館。 3つの学級講座を2つ「ふるさと」「豊か生きいき」に統合する	新型コロナが世界的に大流行 2020東京オリンピックを1年延期
2		